

## 令和4年度 第2回 船越小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年6月21日（火） 午後1時00分から2時20分まで
- 2 開催場所 船越小学校 3階会議室
- 3 出席委員 本多 靖明、石川 公子、名倉 久純、杉浦 猛弘、藤本 桂、鈴木 仁、
- 4 欠席委員 永田 真也
- 5 学校支援コーディネーター 山田 佳敬、花島 佳子、鈴木 恭子（欠席）
- 6 学 校 南瀬 悦司（校長）、杉山 友里（教頭）、高林 秀仁（教務主任）  
波多野 祐子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 8 傍 聴 者 井口 祐伽 様

### 9 協議事項

- （1）ビジョンを実現するための手立てについて
- （2）学校・家庭・地域の役割分担について
- （3）支援策の具体について

10 会議録作成者 CSディレクター 波多野 祐子

### 11 会議記録

司会の教務主任 高林から、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

- （1）ビジョンを実現するため手立てについて
- （2）学校・家庭・地域の役割分担について
- （3）支援策の具体について

・野口公園花植えボランティアをやっているが、「ねこのて」のお母さんたちのお手伝いに助けられている。（本多委員）

・「ねこのて」のグループラインは、活動内容や情報を知る事ができる。

例えば、読み聞かせの欠席対応などもスムーズにできるので、とても良いツールだと思う。

・この地域は、昔から、PTA 実践活動も活発で、お母さんたちも協力的である。

・新しい実践活動のやり方として、学年ごとだけでなく、他学年も交えるなど、統一的にすればテーマを決めやすいのではないか。（石川委員）

・今年7年目となる租税教室をやって、今年が一番盛り上がった感があった。

話をしっかり聞き、めりはりもあり、頼りになる6年生だと感じた。下の学年にも良い刺激になるのではと思った。

・子供の幸せには、やはり、家庭の安定が大きいかかわっていると思う。参観会などで、コミュニティ・スクールの話なども保護者向けに、わかりやすく説明することもあって良いのではないか。

（名倉委員）

- ・地域の良さは、自分の体験からも感じている。
- ・子供たちは、少し自立心にかけてり、良い子すぎたりするところがあるのでは、と思うので、自分の意志をしっかり伝えられるようになって良いのではないか。
- ・保護者、PTA、GSメンバーと連携した方が良い活動ができ、子供のためになるのではないか。

(藤本委員)

- ・今まであまり学校活動に参加してこなかったのに、GS会議で色々な活動(地域・学校)を知ることができて驚いているが、続けてくれたら嬉しく思う。
- ・家庭では味わえない体験(電気自動車、ドローン、メタバースなど)をさせてあげてはどうか。
- ・学校と地域の交流により、相互に今まで知らなかったことを知ることができる。(鈴木仁委員)
- ・先日研修を受け、GSコーディネーターの役割が少し理解できた。
- ・携わる人が変わっても、GS活動をスムーズに続けていくためには、まず、しくみ作りをする必要があると思う。(地域にはどのような活動があり、それに関わる人たちはどのような方か、など)
- ・子供なりの得意分野をみつけさせてあげるために、クラブを半年ごと、学期ごとで変えるなど柔軟にしたりして、色々体験させてあげるのがいいのでは。(山田委員)
- ・4年前、PTA会長時、色々活動し、先生、地域の事を知る事ができた。
- ・地域には、色々なすばらしい会があるので、横の連携をとることができれば、災害などのときに、大きな力になるのではないか。(杉浦委員)
- ・コーディネーターの役割として、活動の人材を見つけようと浜松市の人材募集ページを見たが、範囲が広いので、この地域にしぼって探す必要があると思う。(花島コーディネーター)

#### その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和4年10月12日(水)13時00分から会議室で開催する旨の報告があった。